



「Inducer.10 - 舟 - 」(制作中)

小野耕石展 —放たれた舟—

October 12 - 27, 2019 HISHIO HALL 10:00 - 16:30



「波絵」(部分) セゾン現代美術館展示風景 撮影 本間公恵



「Inducer.06」(部分) 撮影:青地大輔 高松市美術館

小野耕石展 —放たれた舟—

日時 2019年10月12日(土)～27日(日)
10:00～16:30

会場 勝山文化往来館ひしお | 入場無料 | 水曜休館 |
岡山県真庭市勝山162-3 tel.0867-44-5880

HP: <http://hishioarts.com>
E-mail: info@hishioarts.com



2018年7月、西日本豪雨によって地元岡山に大きな被害が出た。高校3年間を総社市で過ごした僕は、千葉県のアトリエでこのニュースを知り愕然となった。藝術に何かができるかと勘違いをしたことはないが、何やら重い思いのようなものが生じている。僕の今まで作ってきた作品群は、新しい発想を生み出し、既成概念を打ち破っていこうと意気揚々と取り組んできた。しかし作品を作り上げるときの潜在意識の中に、総社市、真備町の田園風景が色濃く沈殿していることを、なんと最近気づいたのである。そして今回、展覧会を開催するにあたり、水害時の真庭市で死んだ雄鹿の頭骨を預かっている。その頭骨を使い新作「Inducer.10—舟—」を制作中である。顎のない頭骨を上下さかさまにし、頭部を舟に、角を櫂(オール)に見立て「波絵」と合わせ展示します。固定観念を横切る「舟」。その舟のある位置は今しか確認できない。

小野 耕石

小野耕石 / Kouseki Ono

【略歴】

1979年 岡山県倉敷市生まれ
2006年 東京藝術大学美術研究科修士課程絵画専攻版画科修了

【主な個展】

2019年 「小野耕石展」養清堂画廊(東京)
2017年 「Inducer」ギャラリーあしやシュレ(兵庫)、「波絵」東京バブリッシングハウス(東京)、「小野耕石」アートフロントギャラリー(東京)
2016年 「Hundred Layers of Colors - 垂直は明るく、水平は光」SEZON ART GALLERY(東京)
2010年 「泳ぐ深淵 - 映発」奈義町現代美術館(岡山)
2009年 「古き頃、月は水面の色を変えた」資生堂ギャラリー(東京)

【主なグループ展】

2019年 「凹凸に降る」ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション(東京)、「The ENGINE 遊動される脳ミソ」小野耕石×門田光雅「セゾン現代美術館(長野)
2018年 「現代版画の可能性」茅ヶ崎市美術館(神奈川)、「モネ それからの100年」横浜美術館(神奈川)・名古屋美術館(愛知)
2017年 「高松コンテンポラリーアート・アニユアルvol.06 / 物語る物質」高松市美術館(香川)「心のひだ・きびの美術 - 遠との共鳴 - 第3回総社芸術祭2017」宝福寺(岡山)
2016年 「5Rooms 感覚を開く5つの個展」神奈川県民ホールギャラリー(神奈川)
2014年 「氏賞受賞作家展 よにんの素材が表現する“今”」岡山県立美術館(岡山)

【受賞】

2016年 「PAT in Kyoto 第2回京都版画トリエンナーレ2016」大賞
2015年 「TERRADA ART AWARD 2015」細木エリ子賞、「VOCA2015」VOCA賞
「岡山芸術文化賞」グランプリ、「マルセン賞」文化賞

山地真美 / Mami Yamaji

岡山朝日高等学校卒業。岡山大学法学部法学科卒業。
2015年カンヌ国際映画祭入選作品「ORIGAMI」のテーマ曲に、後楽園を描いた「鶴は舞う」を提供。また2016年の春から、BSフジ番組「ブレイク前夜」(毎週火曜日21:55～)の全音楽を担当している。他、CanonのWEBCMにも楽曲「セピア色の風景」を提供。
2016年7月には新しいCDアルバム「岡山の旅」(全9曲)を発売。7月、クラウドファンディングで支援を得てイタリアにて開催された第25回イブラグランドプライズ国際音楽コンクールに出場し、作曲部門にて名賞受賞及び、地元倉敷をテーマとした楽曲「裏栗柳」が審査員特別賞を受賞。
2017年には勝央町より廃校のピアノの寄贈を受け、ピアノを復活させるプロジェクトも行う。オカヤマアワード2018特別音楽賞受賞。

展覧会最終日、小野耕石さんが作品解説を行います。そして情景描写ピアノストで作曲家、岡山観光大使でもある山地真美さんが、展示作品からのインスピレーションを即興演奏いたします。この日この時しか味わえない贅沢なひととき、美術作品が音楽と融合する瞬間を感じてください。

主催：特定非営利活動法人 勝山・町並み委員会、岡山県
後援：真庭市、真庭市教育委員会、山陽新聞社、読売新聞岡山支局、朝日新聞岡山総局、毎日新聞岡山支局、真庭タイムス社、(一社)真庭観光局
問合せ先：勝山文化往来館ひしお tel.0867-44-5880 (水曜休館)

令和元年度岡山県芸術文化育成・支援事業

岡山県では、次世代を担う岡山県ゆかりの芸術家に活動・発表の機会を提供し、創作活動を支援するとともに、県民に対して優れた芸術に触れる機会を提供しています。



撮影 本間公恵

小野耕石 × 山地真美 クロージングイベント (トーク&ライブ)

日時 10月27日(日) 14:00～15:00
会場 勝山文化往来館ひしお | 入場無料



がんばろう 岡山! 一復興へ 心つながてー

